

発行／中野島地区社会福祉協議会
川崎市多摩区登戸1891
第3井出ビル3階
福祉パル多摩内
地域課：電話：935-5500
FAX：911-8119
発行人／ 田村 弘志
編集人／ 総務部



社協シンボルマーク

社協は社会福祉協議会の略称です



中野島地区社協のテーマ

この地域
誰もが暮らしやすい
中野島・布田

この広報紙は、皆様からの
会費で作られています

2026.1.15 No.50 (年2回発行)

第20回中野島社会福祉のつどいが開催されました

令和7年12月6日、気持ちの良い晴天の中、中野島小学校アリーナに於いて11時30分より『第20回社会福祉のつどい』が開催されました。田村会長の挨拶からは、「地域のみなさまの安全を思い、つながりを強めて住みよい中野島を目指す」思いが温かく伝わってきました。続いて、ご来賓の方々から御祝のお言葉を頂戴しました。

第2部の演目は、幕開けにふさわしい中野島中学校吹奏楽部の躍動感あふれる演奏から始まりました。続く子どもたちが演じるダンス、フラッグ、一輪車、太鼓は、子どもたちのはつらつとした元気いっぱいのパフォーマンスに、立ち見も出た満員の観客も心洗われ、笑顔で拍手を送っていました。なごみ福祉会のみなさんのダンスパフォーマンスも、演じるみなさんと会場が一体となって、全身ノリノリで楽しませていただきました。成人、お年寄りの踊り、ダンス、合奏、合唱、太極拳、フラダンス、民謡の演目では、みなさんのチームワークの良さ・絆と、好きなことを心から楽しんでいる、生き生きとした明るさが、舞台せましと伝わってきました。日頃の練習の成果をたくさんの観客のみなさまと共有でき、3時間半の時間もあっという間に楽しく過ごすことができました。

「社会福祉のつどい」は、小さいお子さんからお年寄りまで、趣味や活動の発表を通じて幅広い方々との交流を育み、笑顔を交わすことでつながり、よりよい地域、住みやすい中野島をみんなで作っていくことを目的として続けられてきました。これからも大切なことを引き継いで、「社会福祉のつどい」が続けられることを願ってやみません。ご来賓の方々、出演されたみなさま、ご指導の先生、会場で応援して下さったみなさま、関係各機関でご協力頂いた方々に心より御礼申し上げます。



福祉のつどい
写真集(1)

プログラム

①	吹奏楽	中野島中学校
②	ダンス	ハグミー・ナーサリー
③	フラッグ	中野島のはら保育園
④	一輪車	JUA中野島一輪車クラブ
⑤	太鼓	中野島フレンズ保育園
⑥	踊り	いこいの家舞踊会
⑦	フルート	フルートアンサンブル“ブーケ”
⑧	ダンス	いこいの家フォークダンス
⑨	太極拳	朝の太極拳コスモス
⑩	踊り	中野島第一親生会
⑪	フラダンス	中野島フラダンスB
⑫	ダンス	なごみ福祉会多摩川あゆ工房
⑬	カラオケ	人生楽会
⑭	踊り	中野島寿楽会(第1)
⑮	フラダンス	中野島フラダンスA
⑯	ダンス	なごみ福祉会ひとと
⑰	ダンス	長寿会
⑱	民謡	民謡の会
⑲	民謡	中野島寿楽会(第1)
⑳	コーラス	中野島第二親生会
㉑	太極拳	いこいの家太極拳
㉒	合唱	中野島小学校PTAコーラス部

次のページに続く

中野島のこんな事知っていますか
田村 弘志

戦後の農地制度改革

第二次世界大戦が終わり、すべての物資が不足していました。昭和22年(1947年)にの工のは長く続いていた農業制度の根幹をなす農地改革に取り掛かりました。これは日本にとっては大変革の制度改革でした。日本全国の大地主と、首都圏の小規模地主にも大きな衝撃を与えました。農家は自分の土地を持って農業を営んでいる自作と、地主から農地を借りて農業を営んでいる小作に分かれていました。小作は一定の借地料を物納料で支払っていました。この制度がの工の指導により、地主から小作に売り渡さなければならなくなりました。問題はこの金額でした。いろいろの事情を鑑みても破額の安い値段でした。

一方日本の経済状況は工業経済へと変改し拡大して行きました。京浜工業地帯を近くに控えた川崎北部の農業地帯の農業従事者は、収入の多い労働者として転職して行きました。地方からも集団就職などの大量の労働力が補給されました。農地から住宅地へと転用されそこにアパートが建てられました。人口は増加し南武線は通勤者で満員でした。私はこの満員電車で通学しましたが想像以上の満員電車でした。何のための農地改革だったのでしょうか。疑問ですが難しい問題だったのです。

「おとあそび会」開催しました 青少年幼児部

11月、朝の気温が一桁に下がった日でしたが中野島こども文化センターでの「おとあそび会」に18組のお父さん、お母さんとお子さんが参加してくださいました。“はじまるよ♪はじまるよ♪～”という先生の歌声が聞こえ始めると保護者の皆さんもご自分のお子さんの顔を見ながら手拍子。お子さんもニコニコ顔でイベントがスタートしました。まだ足元のおぼつかないお子さんも多かったのですが、音楽に合わせて親御さんの膝の上で弾んだり、揺れたり、こちょこちょしたり、親子のふれあいを楽しんでいました。スカーフを使った遊びでは、ゆらゆら、ひらひらするスカーフに手を伸ばしてつかんだり、いないいないばあ～をしたり、ニコニコ顔があふれていました。途中で、先生が用意して下さったキットを使って“たぬきの太鼓”の工作も行いました。シールを自分で貼れる月齢のお子さんは自分でペタペタ。みんな可愛らしい“たぬきの太鼓”が出来上がりました。その太鼓をたたきながらみんなで“おもちゃのチャチャチャ”



を合唱♪合奏♪スタッフも鈴やタンブリンを手に楽しむことができました。“とても楽しかったです”“家でもやってみます”という感想を頂き、スタッフも充実した時間を過ごすことができました。最後に皆さんと一緒に歌った“手のひらを太陽に♪”この歌のように今日来て下さった方々、この会に関わり、力を貸して下さった方々すべての方々が“ともだちなんだ♪”と感じる温かい時間を過ごしました。

携帯やパソコンの困ったな、
お気軽にご相談ください



携帯電話会社に聞くほどでもないしな・・・(笑)
ちょっと誰かに聞いてみたいな

午前10時から午後6時まで

毎週火曜、日曜は定休日です

ウイスティアサポート 中野島3-16-19

([中野島中学校入口]交差点そば、中野島不動産となり)

電話

080-1170-3883

メール

souden@uisuteria.jp

ウイスティアサポート

代表：藤江重公

稲田中野島民生委員児童委員協議会だより

民生委員児童委員が昨年12月に全国で改選されました。任期は3年になります。

民生委員児童委員は、住民の皆さんと関係機関との「つなぎ役」です。妊娠・子育て・学校生活・生活費・一人暮らし・健康医療・介護・福祉サービス等に関する心配や悩みがありましたら、ご相談ください。民生委員児童委員は、厚生労働大臣から委嘱されており守秘義務があります。まだ委員が決定していない地区が多くありますが、今後決まり次第お知らせしていきます。

なお、新役員体制は次のメンバーになりました。3年間よろしくお願いします。

会 長	浅谷 裕子
副会長	池田 江里子
	田村 恵子
会 計	竹林 真実
書 記	米川 由紀

お住まいの地域担当民生委員への連絡先は、下記にて確認をお願いします。

多摩区役所地域みまもり支援センター 地域ケア推進課
管理運営係 電話：(044) 935-3295



布田西 黒澤 美智子	布田中 山内 美幸	新多摩川ハイム ①～③ 小島 康明	中野島市営団地 欠員	中野島北(2) 浅谷 裕子	中野島多摩川住宅 6・8・9・12～14 菅野 マツ子
	布田東 欠員	新多摩川ハイム ④～⑥ 竹林 真実	中野島北(1) 國分 初穂	中野島北(3) 欠員	中野島多摩川住宅 7・10・11 欠員
布田西	布田東	中野島北(1)	中野島団地	中野島東(1)	多摩川住宅 (7・10・11)
布田中	新多摩川ハイム (4～6)	中野島北(2)	中野島東(2)	多摩川住宅 (6・8・9・12～14)	多摩川住宅 (1～5)
新多摩川ハイム (1～3)	中野島北(3)	中野島東(3)	中野島東(6)	中野島東(5)	中野島東(4)
中野島西(1)	中野島南(1)	中野島南(3)	中野島東(5)	中野島東(6)	津久井 政江
中野島西(2)	中野島南(2)	中野島東(4)	主任児童委員 田村 恵子	中野島東(3) 網野 郁子	中野島東(2) 欠員
中野島西(1) 多本 布美子	中野島西(2) 久保 由起子	中野島西(3) 池田 江里子	中野島南(1) 石井由美子	中野島南(2) 今井 美智子	中野島南(3) 米川 由紀

中野島心のいやしコンサート 福祉部

10月9日中野島会館にて、「中野島心のいやしコンサート」を開催しました。風の強い中、およそ80名の、たくさんの方々にご来場頂きました。

第1部は、多摩警察署生活安全課による、詐欺にまつわる防犯の講話と、自転車の交通ルールについての説明をして頂きました。

第2部は、芸術村あすなろによるコンサートで、今年のテーマはスクリーンミュージック♪。華やいだ雰囲気に包まれ、自然と体が揺れて




川崎市社会福祉大会

令和7年10月29日(水)川崎市総合福祉センターにおいて「川崎市社会福祉大会」が開催されました。本大会は、永年にわたり社会福祉に貢献された方々の功績を称え、地域福祉の一層の発展に資する事を目的として開催されました。

第1部式典において福田市長、川崎市社会福祉協議会今会長の挨拶に続き、「川崎市長表彰及び川崎市社会福祉協議会会長表彰・感謝」の表彰がありました。中野島社会福祉協議会からは柳宗義氏が会長表彰を受賞しました。一柳氏は、令和元年12月より稲田中野島民生委員児童委員協議会の会長と中野島地区社会福祉協議会の副会長に就任し、地域福祉に多大なる貢献をされました。

第2部記念講演では、元フジテレビアナウンサーで現在、フリーアナウンサーの笠井信輔氏の「介護した私、された私?がんステージ4からの生還?」の講演でした。同氏は、フリーアナウンサーに転身した直後、がん宣告を受けました。壮絶な闘病生活を送られ現在は、仕事に復帰されました。お母様の介護のお話からご自身の入院療養中に同氏を精神的に支えられた、ご家族とご自身の病気に負けたくない前向きなお話を伺いました。多忙な生活を送っていても早期発見がとにかく大事である。また、宣告されても「がんになったからこうなれたという人生を歩もう」と思う気持ちが大切であると話され、とても考えさせられた時間でした。



福祉のつどい
写真集(2)

今回も皆さん頑張りました 次回もみんなで盛り上げましょう


中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会 をご存じですか?

「子どもの健やかな成長の喜びを、全ての世代が共有できるまち」を目指して、町内会・自治会、学校、保育園、福祉団体、行政など約20団体が協力し、年に2～3回集まって中野島地区のことについて話し合いをしています。

活動の中心は、あいさつ運動や多世代交流の場づくり。日常生活の中で人と人がつながるきっかけづくりを大切にしています。世代を超えたつながりは、子どもの成長を支え、地域の安心安全・防犯にも役立ちます。孤立を防ぎ、笑顔が広がるまちづくりの第一歩です。最近では、「さんさん会～75歳以上男性の会～」と「なかのしまのぞみ保育園」との交流も始まりました。さらに、活動をもっと身近に感じてもらうため、中野島駅前の横断幕を新しくしました。協議会キャラクター「なかよしなっしーず」とキャッチコピー『あいさつで つながる心 咲く笑顔』を掲げ、明るく親しみやすいデザインで協議会の思いを表現しています。駅をご利用の際は、ぜひご覧ください。

これからも地域の皆さんとともに、人と人とのつながりを広げる活動を続けていきます。

問合せ連絡先：多摩区役所地域みまもり支援センター
044-935-3241



赤い羽根共同募金ありがとうございました

共同募金運動全国共通テーマ「つながりをたやさない社会づくり」のもと、10月1日から赤い羽根募金が始まりました。今年も10月1日・2日・5日の3日間に、JR中野島駅改札口前にて街頭募金活動が行われました。

最終日には、中野島中学校の先生と生徒と一緒に駅前に立って活動してくれました。大勢の方々に募金協力をしていただき、ありがとうございました。

赤い羽根募金は、社会福祉団体(在宅サービス団体・社会福祉施設)、多摩区社会福祉協議会に配分され役立てられています。

